つぼみ保育園年報

第25号

2022年(令和4年)9月1日 発行

発行/編集

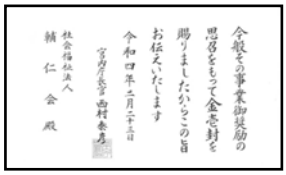
社会福祉法人 輔仁会
つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

「御下賜金」と「言語化」 理事長 大浦 純平

この2年半に渡るコロナ禍の下で、輔仁会の各園においても休園に追い込まれたり、クラス閉鎖があったりと保護者の皆様にご迷惑をお掛けする事態が続いています。一刻も早い収束が待ち望まれます。

★ さて、この度、当法人は天皇陛下より社会福祉事業御奨励の思し召しをもって、民間福祉事業に係る**事業成績優秀な団体であるとして金一封を下賜されました。**これは私の母、大浦仁子による1965年の創立以来、57年間保育事業を支えてもらった歴代の園長先生方を始め、多くの職員へのご褒美であり、また、温かく見守りご協力を頂いた保護者の皆様のお蔭だろうと思っています。


今般その事業御奨励の思召をもって金壱封を賜りましたからこの旨お伝えいたします
令和四年二月二十五日
宮内庁長官 西村泰彦
社会福祉法人
輔仁会 殿

★ 次に、私共は保育理念として、「子どもたちに最善の喜びと幸せを 子育てに夢と力を」という言葉を掲げ、保育の拠りどころとしています。今回、その道のプロに依頼し、日々の保育行動を職員から聞き取りをしてもらい、その一つ一つが言語化されました。

一部をご紹介すると、**「その子の気持ちを、一緒に探す。」「気持ちを汲み取り、想いを返す。」「その一瞬を、見逃さない。その一言を、聞き漏らさない。」「全員を感じる。一人に向き合う。」「好奇心で、子どもに負けない。」「一人一人の『やってみたい』を大切に。」**等々、思いもよらぬ素敵な表現がなされたことに驚きました。連綿と引き継いできた保育が言語化され自分たちが現場で実践している保育の一つ一つが言葉により裏打ちをされたことに保育者たちは大いに感動を覚えました。

★ 今回の**『ご奨励』**を機に、そして、**『言語化』**された実践の一つ一つを心に刻みながら、「最善の喜び」を提供できるよう、保育計画を更に深化させなければと思います。

結びとして、近ごろ保育の世界も近代化の波が押し寄せつつあり、経営の効率化や、選ばれる保育園になるための方策を、かまびすしくなっています。私共もその対応を考えなければならない時期なのかとは思いますが、古い頭では上手く対応出来るのか甚だ自信がありません。それでも、引退前に、後ひと踏ん張りしてみようと思っています。

皆様の応援を宜しくお願い致します。

コロナ禍と地球と

統括次長 大浦まゆみ
（元 新宮つぼみ保育園 園長）

未だコロナの収束が見えず、元の当たり前と思っていた日常は果たして戻ってくるのかと心配です。

二園で、陽性の一報と同時に急なお迎えや登園自粛をお願いする状況があり、お困りであろうにも関わらず直ぐに対応頂き保護者の皆様には感謝いたします。職員も様々な感染防止対策をしながら、子どもたちに例年と変わらぬ保育を、幼児期に大切な経験を、と苦労の日々を重ねていること、有難い限りです。

行事においても出来たこと出来なかったことがあり、昨年は青組の音楽祭は各園毎の入替で開催しましたが、劇遊びの発表会は三園とも中止となり残念でした。しかし、園での保育を間近で見て頂く機会は僅かでしたが、職員皆子どもたちにいっぱいの愛情を注ぎ関わってきました。この子たちの将来が幸せであるようにと願いながら。

もひとつ心配なことがあります。地球温暖化、異常気象、自然災害、絶滅危惧等。人間が地球から享受しすぎた結果でしょうか。この子たちが大きくなった時地球はどうなるのか、それでいいのか。子どもたちの未来の幸せのために、大人が真剣に考えてできることを皆が行動しなければ、恵み豊かな地球を蘇らせなければ、と強く思うこの頃です。

新しいカタチ

2022年度 父母の会 会長 河島 孝

平素より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和4年度の父母の会会長を務めさせていただくことになりました河島孝です。今年度も、OB・OGの皆様の素晴らしい軌跡を引き継いでいけるよう一層の精進を重ね、子どもたちや保育園のために邁進して参りますので、よろしくお願いいたします。さて、今年度も**『やれるときに、やれる人が、やれることをやろう』**をモットーに、父母の会活動を行っていきたいと思います。私は今年度で会長職3年目になり、来春には子どもの卒園と同時に私も退任いたします。振り返れば、会長1年目のスタートとともに「緊急事態宣言」が発令され、新型コロナウイルスと共生する慌ただしい生活へと変わりました。行事の中止や縮小を余儀なくされ、父母の会も全て手探りの状態でしたが、役員の熱い思いによりたくさんの意見やアイディアが提案され、「オンライン会議」や「web議決権行使」「webアンケート」等、“新しいカタチ”での父母の会活動を行ってまいりました。また、昨年度はAED設置ステッカーを玄関の目立つ場所へ貼っていただいたり、駐車場の安全確保のため警備員を配置していただいたり、保育園には様々な要望にお応えいただきました。引き続き、健康と安全管理を第一に考え、子どもたちが楽しくのびのび過ごせるよう、父母の会の皆様でつぼみ保育園をバックアップしていきたいと思います。先生方におかれましては、感染症をきっかけに心身ともにご負担が増えたにも関わらず、“新しいカタチ”での活動や保育を実施して頂いております。そして、いつも子どもたちや私たち保護者一人ひとりと真剣に関わってくださっています。子どもたちが楽しく園に通い、私たちが安心して仕事が出来るのも先生方のお陰です。心より感謝申し上げます。行事の中止や縮小により、皆様とお会いできる機会が減ってしまったことについては、大変残念に思っています。今年度は少しでも状況が好転することを期待しているところです。引き続き、健康と安全管理へのご協力をお願いする中ではありますが、今後とも父母の会活動にご理解とご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。最後になりますが、皆様のご健康と、益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症が早期に収束し、子どもたちの前でマスクを外せる日が一日でも早く訪れますように…

世界の平和につながる保育

園長 小島 千枝

樋口正春さんの講演で「保育の目的は、未来をよくしようとする人を育てること、それが世界の平和に繋がる」という話がありました。地球の片隅で行われる保育と世界平和では、あまりにスケールが違いすぎるので、そこに繋がりがあるなど、私は思ってもいませんでした。

「また明日」と別れた友だちに「おはよう」と言える朝が来る。「いってきます」と出かけて「ただいま」と帰る家があり家族がいる。私たちの目の前にいる子ども達は、そんな毎日が続くと信じています。「この安心感を絶対に損なってはならない」とは思っていました。しかし、加えて私たちは、この子ども達を、平和な世界を築こうとする人に育てなければならないと言うのです。

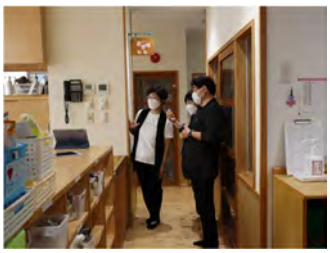
平和を希求する人は、他者を尊重するでしょう。他者を尊重する人は、自分自身の命や存在の大切さを知っているでしょう。自分を大切に思う人は、周りで支えてくれる人の存在を知っているでしょう。辿っていくと、他者から大切にしてもらう経験を重ねる中で育まれる『自尊感情』や『自己肯定感』に行き着きます。それらを育む適齢期は幼少期と言われ、思春期になるとかなり難しいとされています。

樋口さんも「幼少期に『かけがえのない存在』として大切にされることで育まれた力が、幸せな世の中を築く礎になる」、また「自分さえ良ければいいのではなく、みんなの幸せを考える力、秩序・ルールを守る力も大切」と語っていました。改めて保育の重責を突き付けられた気がしました。

今、私たちはこの役目を重く受け止め、保育園での子ども達の生活やあそびの環境について、もう一度見直したり確認したり、できることから取り組んでいます。たくさんのことに気づかされ、目覚めさせられた樋口さんの来園でした。

平和な未来に繋がる責務を果たしつつ、世界各地で起きている紛争・戦争が穏便に終わり、人々が苦しみや恐れ、悲しみから解放されて幸せに暮らせる日が早く訪れることを心より祈っています。

樋口正春さんによる視察研修　　主任保育士　西村美香


もも組を視察中

会議室にて各クラスの主担任が交代で相談中

2022年6月21日（火）つぼみ保育園に、私たちが保育をする上でベースとなる考えをお持ちの樋口正春さんをお招きして、日中につぼみ保育園を視察・検証していただき、夕方に姉妹園（つぼみ・さわらび・新宮つぼみ）の職員が集まり、検証結果を樋口さんの考え方に沿ってご助言していただきました。

つぼみ保育園はこれまで、その時代毎の諸先輩方がより良い環境を検討し、変化し続けてきた歴史ある園だと思います。そして今も又、様々な研修や学習会で学びの時間を設けより良い保育環境（人的・物的・保育内容等）を！！と、邁進している最中です。この度、初めての試みとして講師を実際に招き、現場を視察・具体的にアドバイスをして頂いた事で、良かった点もあれば、改善すべき点もあり、今後あらゆる業務を見直し、検討するきっかけとなったと思います。日々の保育の中で、私たちが果たすべき責務は何なのか？目的、到達点等を職員間で共有し、同じ方向を向き、意識を統一するきっかけになったと感じました。厳しいお言葉も頂き、涙が出そうになりましたが、ありがたい時間でもありました。

これからも、子ども達にとって、保護者の皆様にとって、地域の皆様にとって、そして職員の皆にとって、より良いつぼみ保育園であり続けるために…頑張ります。

さくら組を撮影中

三園の職員が真剣に樋口さんのお話を聞いています。

「学びの場」　　主任保育士　猿渡健一

“さすまた”を使ってみました。

～防犯訓練～

近年、どこに不審者がいるか分からない世の中になっています。昨年11月には宮城県のこども園に刃物をもった不審者が来るというニュースに驚きました。つぼみ保育園でも不審者が来た時の対応訓練を2021年9月16日に東警察署の西頼さんをお招きしたのをきっかけに防犯係を設け、毎月あるリトミック学習会の前に訓練を計画して、不審者役、対応役などになり想定できる範囲内で訓練をしています。

東警察署　西頼さんより防犯の心構えを教えていただきました。

～リモート研修～

私たち職員は、自己研鑽の為に保育時間中に研修に行く機会があります。コロナ禍前は研修会場まで公共手段を使って園から1、2名、1日や半日の研修に行っていたのですが、今では保育園のパソコンを使ってZoomでの研修が当たり前のように行われています。リモートという言葉が主流となり、意外にこの形もアリなんだなというのが実感です。時代の流れやその時にできることなどを臨機応変に対応しながら日々の学びを深めています。

2022年度　職員一覧

（9月1日現在　60名）

園 長　小島 千枝

本　園	
主 任	西村 美香・猿渡 健一
給食主任	福島 千春
事務主任	大浦 理絵
もも組	津田 豊子・幾度 良恵 山下 桃羽・山口 彩乃 小西 真弓・原田 歩 秦 祐美・清水 淳子 肥後 恵美・米村 美智子
うめ組	福﨑 夏弥・宇佐美 敦子 徳永 瑶子・市川 優羽奈 長田 佑佳・星野 由起 野﨑 絵美
さくら組	松本 達則・田中 茄穂 佐藤 結菜・越治 和代 小田 晃子・内田 久子 奥村 津矢
すみれ組	石橋 優希・大川 未来
れんげ組	松本 綺羅星・木川 沙央理
つくし組	木之下 文・原 真理子
わらび組	冨成 真樹子・岩永 松枝
なずな組	大住 萌・柴田 彩佳
給食員	福島 千春・城戸 奈緒 河津 和美・上田 愛 久保 淳子・岡﨑 千代 松浦 美智子・造士 恵美
用務員	岩﨑 直子・堤 涼司
【育休中】	折居 香織
分　園	
分園主任	宮川 京子
保 育 士	大塚 菜央・船越 咲 山上 ゆず樹・野田 美和子 田中 孝子・田中 富美子 福徳 春香・富永 真理子 野中 智子・阿部 俊子

2022年度 父母の会役員

会長　河島 孝（なずな）

副会長	重田 佳樹	（さくら）
	山中 隼也	（さくら）
	上福元 千愛	（わらび）
会 計	吉浦 未貴	（う め）
	山田 暢子	（れんげ）
	福井 優香	（なずな）
	渡邊 つくみ	（わらび）
書 記	瀬戸口 早希	（も も）
	川越 亮治	（わらび）
	永井 久美子	（なずな）
監 事	庄崎 万梨惠	（れんげ）
	山田 絵里香	（さくら）
委 員	森田 英資	（も も）
	三ヶ島 慎二	（も も）
	重田 有沙	（も も）
	手島 未稀	（う め）
	石井 竜之宥	（さくら）
	佐志 茉美	（さくら）
	冨岡 裕理	（すみれ）
	高野 祥子	（すみれ）
	中村 智子	（すみれ）
	長瀬 智子	（れんげ）
	秦 英敏	（れんげ）
	梶原 直仁	（つくし）
	筧 哲弘	（つくし）
	濱田 正作	（わらび）
	梅田 千恵	（なずな）
おやじの会	濱田 泰暢	（なずな）

トピックス

主任保育士　猿渡健一

■屋上の環境整備

①三輪車が増えました

昨年度、父母の会より在園記念として三輪車をいただきました。屋上にある既存の三輪車に加えて全部で33台になりました。子どもたちと大切に使って遊んでいきたいと思います。

②防水加工と人工芝張り

屋上の防水加工と人工芝の張替えをしました。以前よりも芝の部分が増えて、より心地よい場所になりました。芝のない所は三輪車で走れるようにしています。子どもたちが楽しめる環境の一つとしてたくさん遊んでいます。

■園の自動車が変わりました

令和3年12月に保育園の車が新車に変わりました。軽快に分園までの給食運搬をしています。左右と後部にシンボルマークがついています。見かけたら手を振ってみてください。

■遊戯室の電灯がLEDになりました

遊戯室天井の電灯を蛍光灯ライトからLEDライトに取り換える工事をしました。今までは電灯交換に天井まで届く脚立を使用していましたが、しばらくは交換する必要もなく明るい遊戯室で過ごせます。